

主役は俺だー2023年秋④

■桂田陽向（かつらだ・ひなた） 帯広畜産大 WR 2年

8月20日に終了したサッカー女子のW杯で、なでしこジャパンの宮澤ひなたが得点王に輝いた。日本人選手では12年ぶり2人目の快挙だ。帯広畜産大の「ひなた」も負けてはいない。6月の釧路公立大とのオープン戦では2TDキャッチの大活躍。14-21で惜敗したが、PATのキックも自ら蹴って帯広畜産大の全得点をたたき出し、新チームのエースレシーバーに名乗りを上げた。「今年のレシーバー陣は1、2年生だけ。上級生としてプレッシャーも感じるが、冬場の練習で俊敏さと走り方を強化した。チームの期待にこたえたい」と、177センチ、69キロのスレンダーな体で胸を張った。

福井県の若狭高ではサッカー部。新歓イベントでチームの雰囲気を入り、「サッカー経験を生かして力になれそう」とアメフト部に入部した。「目立つポジションだったので」とWRを志望。新型コロナウイルスの影響で3試合のみだった昨季は、4年生エースの陰で3回のキャッチ。このうち初陣の北海学園大戦では、第3ダウン残り17ヤードの場面で24ヤードのパスを、自慢の脚力で見事にキャッチしてダウンを更新。「自信になった」と振り返る。今年の釧路公立大とのオープン戦もTDは28ヤードと48ヤードのロング弾。「たまたま」と照れるが、勝負強さに磨きがかかってきた。

「もっとロングを取りたい」と欲が出てきた今季、捕球後に相手DBをかわしてゲインを狙う。「ショートパスの時も少しでも前に出したい」と意気込む。1年生5人を含む15人で臨む秋季リーグ。少数精鋭のためWRに加えてDB、Kと出番は多い。「1試合を戦い抜きたい。WRとしては1試合にTD2本、セーフティーとしてオープンを止める。キックのミスをしたくない」と目標もたくさんある。「ワンハンドキャッチもしたい。印象に残るプレーをしたい」と「ひなた」マジックも宣言した。

〈プロフィール〉

2003年6月17日、福井県若狭町生まれ。畜産学部畜産学科環境工学ユニット。あこがれの選手はNFLバイキングスのWR ジャスティン・ジェファーソン。

「第4Qの勝負どころでワンハンドキャッチ。めっちゃかっこ良かった」。

